

人間社会学部／総合人間社会コース	職名	教授	氏名	神谷 英二
------------------	----	----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了・博士（文学）

私は、現象学を中心とする現代哲学と生命倫理を中心とする応用倫理学を主な研究分野としています。また、医療機関や地方自治体の人材育成にも取り組んでいます。

現在取り組んでいる主な研究テーマは、以下のとおりです。

- a. モダニズム詩に現れる形象を導きとする集合的記憶に基づく「まちの物語」の現象学的解釈学的研究
- b. 集合的記憶を媒介とした世代間コミュニケーションに関する現象学的研究
- c. インフォームド・コンセントに関する哲学的・倫理学的基礎研究とそれに基づく医療職に対する生命倫理教育プログラムの開発と実践
- d. SRHR（性と生殖に関する健康と権利）に関わる日本国内の現状分析と問題解決に関する研究と実践
- e. 医療倫理体制構築を主な手段とする医療機関の経営品質向上の研究と実践
- f. ロジカルシンキング、ロジカルライティング、文書添削及びコーチングを中心とする地方自治体における人材育成プログラムの開発と実践

2. 研究業績

①最近の著書・論文

- ・（共著）新木真理子・神谷英二・東玲子・吉原悦子・丸山泰子「要介護高齢者の気遣いの世界一祖父母的ジェネラティヴィティの源を探る一」、『西南女学院大学紀要』Vol.21、西南女学院大学保健福祉学部、2017年、1-8
- ・（単著）「消尽と救済としての物語(1)」、『福岡県立大学人間社会学部紀要』第26巻第2号、福岡県立大学人間社会学部、2018年、163-173
- ・（単著）「消尽と救済としての物語(2)」、『福岡県立大学人間社会学部紀要』第27巻第2号、福岡県立大学人間社会学部、2019年、113-123
- ・（単著）「消尽と救済としての物語(3)」、『福岡県立大学人間社会学部紀要』第28巻第2号、福岡県立大学人間社会学部、2020年、87-96
- ・（単著）「消尽と救済としての物語(4)」、『福岡県立大学人間社会学部紀要』第29巻第2号、福岡県立大学人間社会学部、2021年、153-16
- ・（単著）「都市モダニズムと断片化(1)」、『福岡県立大学人間社会学部紀要』第30巻第1号、福岡県立大学人間社会学部、2021年、113-125
- ・（単著）「都市モダニズムと断片化(2)」、『福岡県立大学人間社会学部紀要』第30巻第2号、福岡県立大学人間社会学部、2022年

②その他最近の業績

<シンポジウム>

- ・ (単独)「ポスト工業社会における新たな公私の協働」、日独国際シンポジウム「石炭産業終焉後の”地域ビジョン”をめぐって—ポスト工業社会における暮らしと文化—」提題、2017年10月14日、福岡県立大学

<教科書>

- ・ (共著)福岡県立大学教養演習テキスト学生編集委員会編『旅する大学生のガイドブック—レポートの書き方 2020年版』福岡県立大学教養演習テキスト出版会、2020年(担当箇所「第1章 教養演習—教養演習はあなたの未来への扉です」7-16、「第2章 レポートとは?」19-37)
- ・ (共著)福岡県立大学教養演習テキスト学生編集委員会編『旅する大学生のガイドブック—レポートの書き方 2021年版』福岡県立大学教養演習テキスト出版会、2021年(担当箇所「第1章 教養演習—教養演習はあなたの未来への扉です」7-16、「第3章 レポートとは?」33-51)
- ・ (共著)福岡県立大学教養演習テキスト学生編集委員会編『旅する大学生のガイドブック—レポートの書き方 2022年版』福岡県立大学教養演習テキスト出版会、2022年(担当箇所「第1章 教養演習—教養演習はあなたの未来への扉です」7-16、「第3章 レポートとは?」33-51)

③過去の主要業績

<著書>

- ・ (共著)千田義光・久保陽一・高山守編『講座 近・現代ドイツ哲学Ⅱ—ヘーゲル以後フッサールまで—』理想社、2006年。(担当箇所「第9章 他者経験の起源—発生的現象学におけるヒュレー・キネステーゼ・他者—」、255-277)

<学術論文>

- ・ (単著)「遊歩者・記憶・集団の夢—ベンヤミン『パサーージュ論』による記憶論構築のために—」、『福岡県立大学人間社会学部紀要』第17巻第2号、福岡県立大学人間社会学部、2009年、67-79

<翻訳>

- ・ (単著)A. J. スタインボック「限界現象と経験の限界性」、『思想』2000年第10号、No.916、岩波書店、2000年、218-243

3. 外部研究資金

日本学術振興会・科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)・基盤研究(C)(一般)、研究課題名:モダニズム詩に現れる形象を導きとする集合的記憶に基づく「まちの物語」の哲学的研究、研究代表者:神谷英二、令和3年度直接経費70万円、間接経費21万円、研究期間:令和元年度~令和5年度

4. 受賞

5. 所属学会

日本哲学会、日本倫理学会、日本現象学会、日本生命倫理学会、哲学会、科学基礎論学会、実存思想協会、日本現象学・社会科学会、日本ミシェル・アンリ哲学会、中部哲学会、西日本哲学会、九州大学哲学会、日本老年看護学会、各会員

6. 担当授業科目

教養演習・1単位・1年・前期、哲学・2単位・1年・後期、入門・数字で見る日本社会・2単位・1年・後期、論理学・2単位・2年・前期、社会人基礎力演習・1単位・2年・前期、問題解決演習・1単位・2年・後期、日本語ライティング・1単位・2年・後期、倫理学・2単位・2-3年・前期、ビジネス倫理・2単位・3年・前期、哲学要論・2単位・3年・後期、公共社会学研究Ⅰ・1単位・3年・前期、公共社会学研究Ⅱ・1単位・3年・後期
卒業論文・6単位・4年・通年
看護実践教育センター・特定行為研修部門・医療安全学／特定行為実践

7. 社会貢献活動

<福岡県田川市>経営評価改革推進委員会委員長、総合計画審議会会長、公共施設等運営権者モニタリング委員会会長

<福岡県直方市>消防本部職員採用試験員

<福岡県田川郡香春町>情報公開審査会会長、個人情報保護審査会会長、政治倫理審査会会長、行政改革推進委員会会長、総合戦略推進委員会委員長

<福岡県京都郡みやこ町>行政改革推進委員会委員長

<株式会社麻生・飯塚病院>倫理委員会委員、臨床研究管理委員会委員

8. 学外講義・講演

<公務員研修>久留米市新任主査級職員研修「マネジメント研修～文書添削指導を通じたコーチング～」

9. 附属研究所の活動等